

はじめに

平成22年度は宮崎県において発生した口蹄疫をはじめ、高病原性鳥インフルエンザが日本各地で発生し、発生県において、その防疫対策に大変ご苦労された年でありました。

また、今年の3月11日に発生した東日本大震災において、今世紀我が国において、類を見ないような地震、津波、原子力発電所事故等により、甚大な被害が発生しました。被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

このような中、当センターにおいても、微力ながら宮崎県、宮城県、福島県へ職員を派遣するなどして、防疫対策や復興へのお手伝いをさせていただきました。

防ぎきれない事件、事故、大災害がいつ発生するかもわからないことから、当センターといたしましても、県行政機関の検査研究機関としての役割を全うするため、24時間365日体制を堅持するとの方針のもと科学技術の進歩に歩調を合わせ、全職員一丸となって頑張っているところです。

ウイルスから廃棄物まで多岐多様な検査研究に取り組んでいます。

今後とも、県の健康、衛生、環境に係る中核検査研究機関として、さらに発展できるよう国、他県の検査研究機関と連携を深めながら検査研究に邁進していきたいと考えています。

このたび、日々の業務に直結したものや業務の合間を見つけて職員が研究した報告書など平成22年度の調査・研究を含めた業務概要を作成しましたので、忌憚ないご意見ご指導をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成23年12月

佐賀県衛生薬業センター

所長 霧田清典